

## 案件概要

【プロジェクト名】 ドミニカ共和国全国廃棄物管理制度・能力強化プロジェクト

【対象地域】 ドミニカ共和国全域(パイロット地域:アスア市、サンチェス市、モカ市)

【実施期間】 2014年1月～2017年5月(終了)

### 【関係機関】

ド国側カウンターパート機関(C/P): 環境天然資源省(MARENA)

協力機関: サントドミンゴ特別区(ADN)、CCN-GIRESOL(廃棄物管理のための組織間調整委員会)メンバー機関

### 【背景】

ドミニカ共和国は順調な経済発展を遂げており、排出される廃棄物量も劇的に増加している。このため、オープンダンピングによる最終処分等の不適正な廃棄物管理が公衆衛生上の問題を引き起こし、周辺住民への健康影響が懸念される状況にある。

当該分野を所管する MARENA は「廃棄物に係る一般法」の制定を進め、国の主導により廃棄物管理政策を改善する姿勢を示している。また、MARENA を中心として廃棄物管理に関わる省庁、公的機関、NGO が意見交換を行うネットワーク「CCN-GIRESOL」の体制が発足している。さらに、各地方自治体を連合化し、最終処分場の建設等の協働での廃棄物管理を目指す動きも進められている。しかし、法の施行に向けた関連法令(省令や規則)の検討は開始されておらず、MARENA が全国の地方自治体に対して指導・支援を展開するためには、制度及び組織の能力強化が必要である。以上の背景のもと、ドミニカ共和国は日本に対して技術支援の要請を行い、これを受けて JICA は、2013年6月に詳細計画策定調査を実施し、2013年8月9日にドミニカ共和国側と技術協力プロジェクトの基本的枠組みについて合意し、Record of Discussion(R/D)を締結、本協力を実施することとなった。

### 【上位目標】

ドミニカ共和国の全国の廃棄物管理状況が改善される。周辺国との統合的廃棄物管理(ISWM)システムに関する情報交換が促進される。

### 【プロジェクト目標】

ドミニカ共和国の統合的廃棄物管理(ISWM)の中央政府と地方自治体の管理体制が環境天然資源省を通じて、構築される。

## 【成果】

成果 1. 環境天然資源省により、県支所、地方自治体、協力機関の役割が整理される。

成果 2. 環境天然資源省により、「自治体 ISWM 計画策定指針、ガイドライン・マニュアル」の案が作成される。

成果 3. 環境天然資源省と協力機関との連携の下、モデル自治体・地方自治体連合体においてパイロットプロジェクトを行いながら、地方自治体・地方自治体連合体の ISWM 計画作成の支援がなされる。

成果 4. 環境天然資源省と協力機関との連携の下、周辺国と経験の共有と意見交換を通じて、地方自治体(単独もしくは地方自治体連合体)の ISWM 計画が改善される。

成果 5. 環境天然資源省と協力機関と連携との下、施行令・施行規則(案)、自治体 ISWM 計画策定ガイドライン・マニュアルが成案となる

## 【結果】

- 自治体の ISWM 計画策定のためのガイドラインと 8 つの技術マニュアルが策定された。
- MARENA の 31 県支所と 2 地方事務所の 66 名の技術者に対し、ISWM 計画策定のための研修指導者研修(Training of Trainers (ToT))を通じて能力強化が行われた。
- 40 名の自治体職員に対し、ISWM 計画策定のための能力強化がなされた。
- 中央政府から自治体への能力強化システムが構築された。
- 3 つのモデル自治体(アスア市、モカ市、サンチェス市)の ISWM 計画が策定された。
- 周辺国(3 年のうちに 13 カ国参加)との情報と経験の共有を図るための国際ワークショップが 3 回開催された。
- 全国レベルの廃棄物管理データベースのためのシステムが構築された。
- アスア県における自治体連合(MANCOM)が設立された。
- 廃棄物に係る一般法案に則した施行規則提案が作成された。

## 【その他特記事項】

- ISWM 計画策定のためのツール(ガイドライン、マニュアル)の整備はドミニカ共和国では初めての取り組み。
- 自治体の能力強化とデータベース構築において、県支所を取りこみ、明確に役割を課すのは、ドミニカ共和国で初めての仕組み
- アスア MANCOM の形成は廃棄物最終処分を主目的とした自治体連合形成の最初の事例。